

令和6年1月1日

福島県営 工業用水道事業について

～地域とともに歩む工業用水道事業～



福島県企業局工業用水道課

目次

- P2 … 工業用水道の特長
- P3 … 工業用水を使用できる業種・用途
- P4 … 工業用水道事業について
- P5 … 工業用水道給水概要
- P6 … 工業用水道給水区域について
- P7 … 工業用水道の施設概要



- P9 … 安定供給の仕組み
- P10 … 受水のために必要な施設
- P11 … 料金体系について
- P12 … 工業用水道の使用開始までの流れ
- P13 … よくある質問
- P14 … 問い合わせ先

復興から創生へ 企業とともに挑戦する福島県企業局の工業用水

東日本大震災という未曾有の災害を経験した当県ですが、
国内外からの温かい御支援により、復興に向けた歩みは着実に前進しております。
地域とともに歩む工業用水道事業を、これからもよろしく願っています。

工業用水道の特長

工業用水道3つの「安」

1

水質基準に基づく良質な水を供給しています

安全

2

使用契約に基づく安定した水量で供給しています

安心

3

飲用ではないため、処理工程が少なく、低廉な料金で供給が可能です。

安価



工業用水道を使用できる業種・用途は？

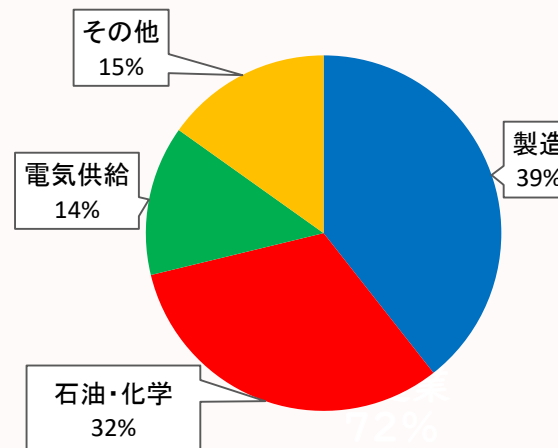
- 製造業（物品の加工修理業を含む）、電気供給業、ガス供給業、熱供給業が主となります。（水力発電用、飲用を除く）
- その他、雑用水として以下のような利用ができます。
 - ・ 清掃やトイレ用水、洗車、散水、噴水などの環境修景用 等

主な活用事例 (福島県営工業用水道)

- 汽かん、冷却、洗浄、原料、散水

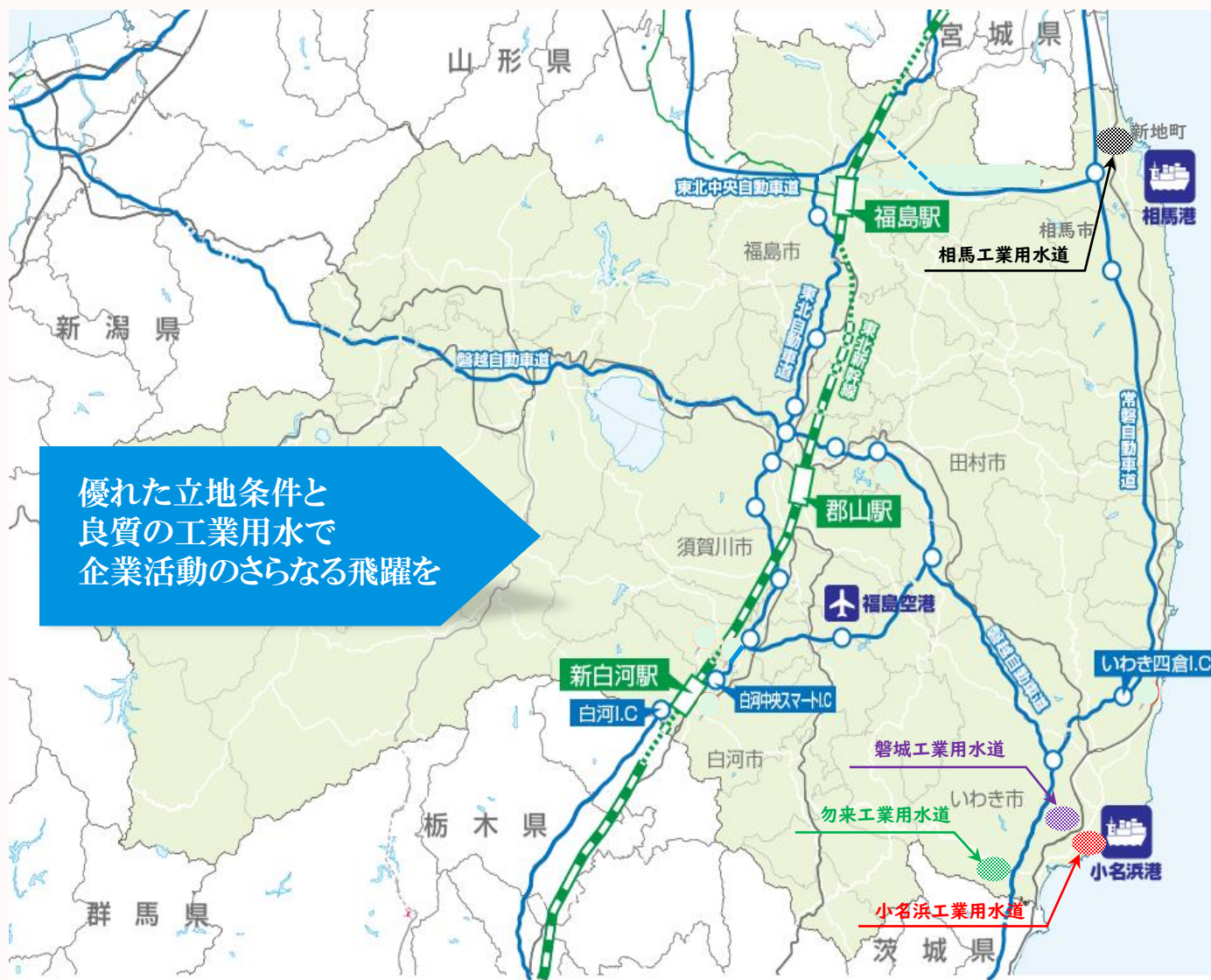


業種別利用者比率 (福島県営工業用水道)



令和4年10月1日現在

福島県営の工業用水道事業について



優れた立地条件と
良質の工業用水で
企業活動のさらなる飛躍を

県営工業用水道事業

事業名	所在地
いわき ● 磐城工業用水道	いわき市
なこそ ● 勿来工業用水道	
おなほま ● 小名浜工業用水道	相馬市 新地町
そうま ● 相馬工業用水道	



福島県営の工業用水道給水概要

工業用水道	● 磐城	● 勿来			● 小名浜	● 相馬
		勿来	南台	勿来計		
給水能力 (m3/日)	233,000	248,100	41,900	290,000	625,000	34,700
契約給水量 (m3/日)	183,296	182,200	39,900	222,100	447,800	28,000
余剰水量 (m3/日)	49,704	65,900	2,000	67,900	177,200	6,700
最低契約水量 (m3/日)	600	600	600	—	600	600
契約率 (%)	78.7%	73.4%	95.2%	76.6%	71.6%	80.7%
契約者数	46	3	2	5	4	11
水源 (原水/浄水)	鮫川 (浄水供給)	鮫川 (原水供給)		—	海水 (原水供給)	真野川 (浄水供給)

令和6年1月1日現在

福島県営の工業用水道給水区域について

工業用水は給水できる区域が定められており、福島県営工業用水道については下表のとおりとなっています。

事業名	給水区域
いわき 磐城工業用水道	いわき市のうち 小名浜、泉町滝尻、泉町下川、渡辺町泉田、常磐下湯長谷町、 常磐関船町、常磐長孫町、常磐水野谷町、常磐西郷町、常磐下 船尾町、常磐三沢町
なこそ 勿来工業用水道	いわき市のうち 錦町、勿来町、佐糠町、岩間町、山田町、南台
おなはま 小名浜工業用水道	いわき市のうち 小名浜、泉町下川
そうま 相馬工業用水道	相馬市のうち 光陽、塚部、大野台 新地町のうち 駒ヶ嶺、今泉

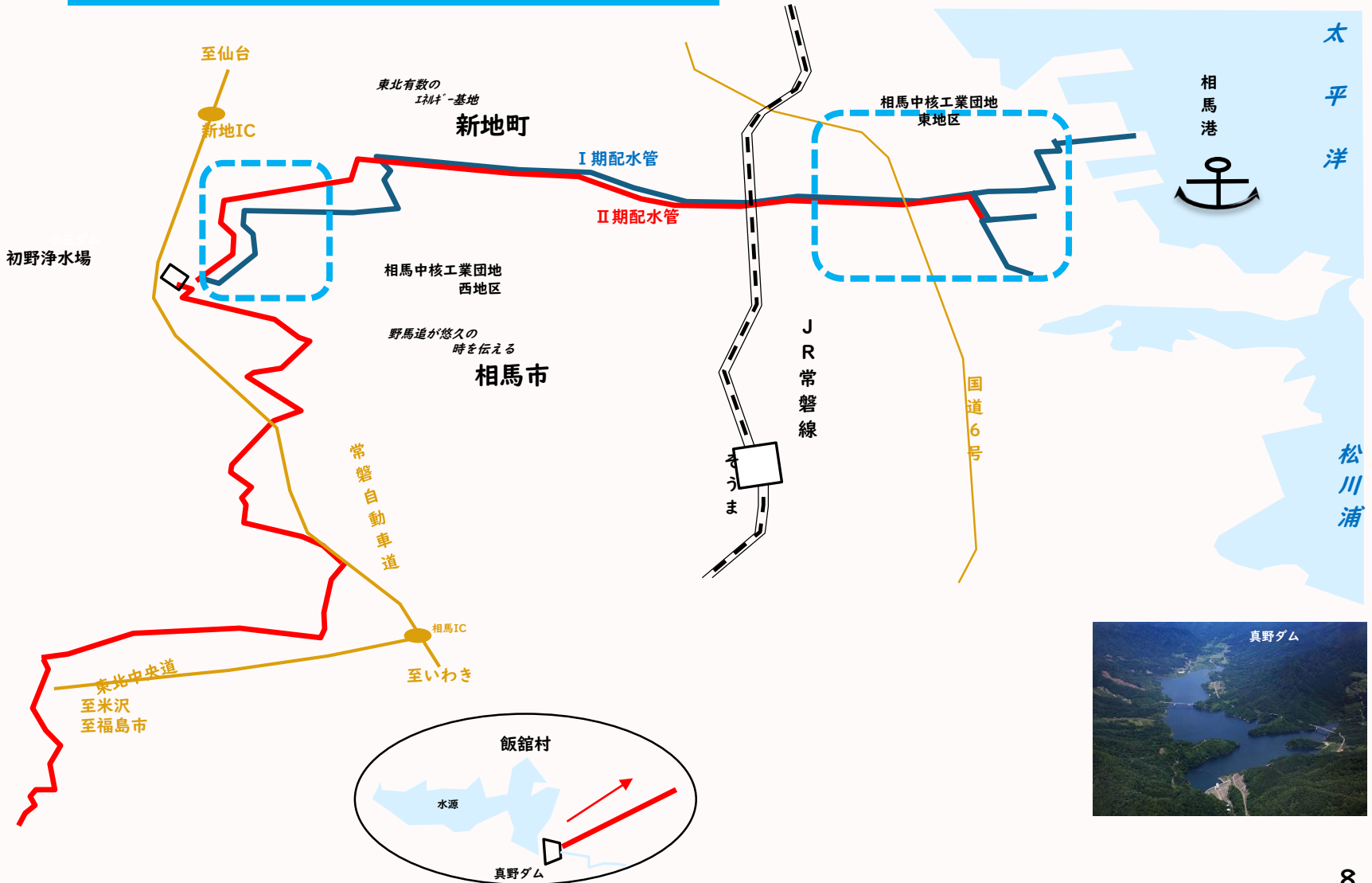
磐城・勿来・小名浜工業用水道の施設概要



相馬工業用水道の施設概要

ダブル配水管で安心をお届けます

相馬工業用水道



安定供給の仕組み（安全・安心）

- 工業用水道は水温、濁度、水素イオン濃度が条例によって規定されています。そのため、浄水場での検査で日々、その水質を一定に保ち、安定供給に努めています。（水質情報はホームページで公開しています）
- 施設の適切な維持管理及び施設の改築更新、管路の複線化などに、積極的に取り組んでいます。



水質基準	
項目	基準
水温	25度以下
濁度	15度以下
水素イオン濃度	6.0~8.5

* 勿来・小名浜工業用水道は、取水地点において取水した原水を供給



受水のために必要な施設



料金体系について

工業用水は原水を沈殿処理したもので、上水道のように高度浄水・塩素・ろ過処理をしていないため、低価格での供給が可能です。

●納付額の算出方法

(基本料金＋超過料金＋メーター使用料) × 消費税

・当月使用分の料金及びメーター使用料に消費税を加算した額を、翌月末日までに納付していただきます。

●基本料金

使用された水量にかかわらず、契約水量に応じていただく料金です。
(5年ごとに設備更新等の費用を計算した上で適切な料金改定を行います)

●超過料金

ご使用になった水量のうち、契約水量を超えた水量についていただく料金です。

●メーター使用料

1台あたり30,000円/月 (税抜)
となります。



事業ごとの料金			
事業名		基本料金 (円/m ³)	超過料金 (円/m ³)
磐城工業用水道		14.1	28.2
勿来工業用水道	勿来	5.7	11.4
	南台	11.4	22.8
小名浜工業用水道		3.8	7.6
相馬工業用水道		45.2	90.4

工業用水道の使用開始までの流れ

1

事前打合せ

- ・工業用水道の制度、費用等について説明させていただきます。
- ・希望契約水量等の打合せを実施し、給水可否について検討させていただきます。

2

給水施設について打合せ

- ・量水器の設置位置等の具体的な工事内容について協議します。

3

給水申込み

- ・給水の申込みをしていただきます。（給水申込内容の審査後、給水決定されます）

4

給水契約締結

- ・給水の決定後、工業用水供給契約を締結します。

5

給水施設工事に係る協定締結

- ・受水者様にご負担いただき、企業局が施工する部分の工事について、負担金の協定を結びます。

6

給水施設工事

- ・給水施設の工事をします。

7

給水開始

- ・給水を開始します。

さあ、工業用水を受水しよう！



よくある質問 Q&A

問い合わせの多い質問と回答についてまとめました。

Q1 工業用水道を申し込める企業の条件などありますか？

原則として工業を営む事業者の方が対象となりますが、雑用水としての利用もできますので、詳しくはお問い合わせください。

Q2 工業用水道を申し込む場合、契約水量に制限はありますか？

当県の工業用水道の最低契約水量は600m³ / 日となっています。

Q3 食品の原料として工業用水道を利用することはできますか？

工業用水を食品の原料水として使用することができます。

Q4 給水施設に係る費用はどれくらいかかりますか？

これまでの実績としては、基本契約水量600m³ / 日のA社の給水にあたり、給水管口径φ75、管路延長18mの給水施設を700万円の受水者負担で整備しました。また同じ600m³ / 日のB社の給水にあたり、φ100、管路0.48mで約8万円で整備した例もあり、配水管との位置関係や量水器設置の条件により費用は異なります。

Q5 工業用水道事業ごとに基本料金が違うのはどうしてですか？

工業用水道事業ごとに、施設建設・更新費用、運営維持管理費用が異なることに加え、原水供給か浄水処理が必要かによっても金額差が発生します。

お問い合わせ先

●相馬工業用水道について

福島県企業局 工業用水道課

Tel : 024-521-7578

Mail : kigyou_kougyou@pref.fukushima.lg.jp

ホームページ : <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/60015c/>
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16

●磐城、勿来、小名浜工業用水道について

福島県企業局 いわき事業所

Tel : 0246-56-5821

Mail : kigyou.iwaki@pref.fukushima.lg.jp

ホームページ : <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/60110a/>
〒971-8185 福島県いわき市泉町字小山310番地

地域とともに歩む工業用水道事業を、これからもよろしく願っています。

